

中央大学大学院理工学研究科研究生制度（私費留学生対象）について

研究生とは、本学の施設を利用して特定の研究に従事することを目的とする者です。

1. 研究環境について

- ・中央大学後楽園キャンパスの利用（図書館、IT センター、生協、学食等）
- ・研究室への所属（活動や指導の内容は研究室によって異なる）
- ・外国人留学生対象の課外日本語講座（週 2 コマ）※予定

2. 出願資格

受入れ開始時点で、以下の両方を満たす者

- (1) 日本以外の国籍を有する者
- (2) 日本以外の国における大学において学士の学位を取得した者またはこれに準ずる者

※ 学士の学位を取得していない者は「個別の入学資格審査」が必要です。

個別の入学資格審査の申請は「1 4. 個別の入学資格審査」を確認してください。

3. 受入開始時期

原則として 4 月 1 日または 10 月 1 日

4. 受入期間

3 ヶ月、6 ヶ月、9 ヶ月、12 ヶ月より選択可
ただし、3 月 31 日までを年度の区切りとする。

5. 受入人数

若干名（指導教授の受入承諾が得られた者に限る）

6. 出願書類

①	入学願書	本学所定書式
②	研究計画書	本学所定書式 A4 用紙 1 枚でまとめること。
③	推薦状	本学所定書式 推薦者は出願者の研究状況等をよくわかっている者（出身大学の指導教授等）が望ましいが、日本語学校の教員または希望する指導教授等でもよい。
④	保証書	本学所定書式 保証人は「日本国内に在住している者」で、なおかつ「会社などに勤務し、独立して生計を立てている者（自分の収入がない学生や主婦等は、保証人になれない）」であること。
⑤	卒業・成績証明書	日本語または英語で作成されたもの。 それ以外の言語の場合には、大使館などの公的機関で認証を受けた訳文を添付すること。証明書類は原本を提出すること。 ※学士学位取得証明書があれば提出すること。
⑥	日本語能力または英語運用能力を証明する書類	＜日本語能力の証明＞ 日本語能力試験の成績証明書、日本留学試験（日本語）の成績確認書 ＜英語運用能力の証明＞ TOEIC, TOEFL の公式スコア

		※いずれも提出できない場合は、連絡してください。 ※研究室によっては語学要件を設けています。必ず研究室の受入要件を確認してください。
⑦	在留カード、パスポート、 特別永住者証明書 いずれかのコピー	氏名、生年月日、顔写真、発行機関、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されているページのコピー
⑧	希望する指導教授が指定したもの	

7. 出願方法

- ① 出願資格および研究を希望する研究室の受入要件を確認し、要件を満たすかどうか確認してください。
- ② 受入要件を満たす場合は、出願書類を提出期限までにご提出ください。希望する指導教授より出願書類以外の必要書類が指定されている場合は、そちらも添付してください。なお、提出した書類は返却いたしません。
(提出先) 〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27 中央大学 理工三学部事務室 大学院担当
(問い合わせ先) gsse-all-grp(アット)g.chuo-u.ac.jp (アットを@に置き換えてください)
- ③ 希望する指導教授が受入れの可否を判断します。面談等が必要となる場合もあります。受入可の場合は、引き続き理工学研究科による入学審査を行います。結果は、理工三学部事務室よりご連絡いたします。

8. 出願書類提出期限

2027 年 4 月入学の場合・・・2027 年 1 月 7 日 (木)

2027 年 7 月入学の場合・・・2027 年 4 月 1 日 (木)

2027 年 10 月入学の場合・・・2027 年 6 月 4 日 (金)

2028 年 1 月入学の場合・・・2027 年 9 月 24 日 (金)

※郵送の場合：出願期間最終日郵便局消印有効 / 窓口提出の場合：出願期間最終日 17 時 00 分

※窓口受付時間については、中央大学理工学研究科ウェブサイトにてご確認ください。

※提出準備ができましたら、上記期限に間に合うよう、できるだけ早めに提出してください。

9. 各種証明書類の原本返却について

各種証明書類の原本返却を希望する場合は、下記書類を原本とともに提出してください。

- ・証明書類原本返却願 (本学所定書式)
- ・返却を希望する証明書類のコピー
- ・切手を貼付した返送用封筒 (窓口で出願書類を提出する場合は不要)

10. 入学までの流れ

- ① 中央大学理工学研究科ウェブサイトにて受入れを希望する研究室の受入要件を確認する
(要件を満たしている場合は②以降参照)
- ② 出願書類提出
- ③ 受入れを希望する指導教授による受入可否の判断
(受入可の場合は④以降参照)
- ④ 中央大学大学院理工学研究科委員会での審議
- ⑤ 学費減免のための書類の提出 (必要な場合のみ)
- ⑥ 中央大学大学院研究科委員長会議 <学費減免の決定> (必要な場合のみ)
- ⑦ 学費振込後、入学許可証発行・在留資格 (ビザ) 申請
- ⑧ 入学 (研究生証発行)

1 1. 選考方法

原則として書類審査 ※選考料不要

1 2. 学費について (2026 年度学費参考)

登録料 20,000 円 (1 年目のみ必要)

指導料 1,065,700 円 (1 年間 (12 ヶ月) 在学の場合)

※ 指導料は、受入れ期間および年度により金額が異なります。

※ 学費の納入は一括納入に限ります。

※ 一度納入された登録料および指導料は、いかなる理由があっても返還しません。

1 3. 指導料減免制度について

私費留学生の方は、日本および出身国との間の経済状況格差に応じた学費減免制度があります。

審査において認められた場合、指導料の減免を受けることができます。指導料減免を希望する場合は、入学願書の所定欄にチェックをし、その意思を示してください。

<減免額> ※減免額は受入 (在学) 期間により異なります。

・ 1 年 (12 ヶ月) の場合 : 250,000 円上限

・ 9 ヶ月の場合 : 187,500 円上限

・ 6 ヶ月の場合 : 125,000 円上限

・ 3 ヶ月の場合 : 62,500 円上限

1 4. 個別の入学資格審査

① 申請期限

・ 2027 年 4 月入学・・・2026 年 12 月 9 日 (水)

・ 2027 年 7 月入学・・・2027 年 3 月 19 日 (金)

・ 2027 年 10 月入学・・・2027 年 5 月 21 日 (金)

・ 2028 年 1 月入学・・・2027 年 9 月 10 日 (金)

② 申請手続

申請希望者は、次の書類を期限までに提出してください。※郵送の場合期限必着

・ 入学資格審査申請書 (本学所定書式)

・ 出願書類一式

③ 審査方法

提出書類に基づき総合的に判断します。

④ 審査結果の通知

審査後に、入学資格審査結果通知書を送付します。

1 5. 入学許可証について

・ 委員会にて了承された後、振込用紙を発行し、学費の納入 (一括) が確認できた時点で入学許可となり、入学許可証が発行されます。

・ 一通目のみ無料で発行します。二通目以降は有料 (300 円/通) です。

1 6. 安全保障輸出管理について

中央大学では、「外国為替及び外国貿易法 (外為法)」に基づき、「中央大学安全保障輸出管理規程」を定め、国外への貨物・技術の持ち出し、送付における管理や、海外との共同研究、外国人研究者・留学生の受入れ等に関する対応を行っています。本学大学院の提供する教育・研究内容は、これら安全保障輸出管理の規制対象となる場合があります。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

17. 個人情報の取り扱い

以下の事項を確認し、同意のうえ、入学願書の所定欄に☑を入れてください。

中央大学は、出願書類に記載されている、氏名・性別・生年月日・住所、その他の個人情報については「中央大学個人情報保護規程」、「中央大学個人情報保護方針」に基づき細心の注意を払って取り扱い、①入学試験実施(出願処理・選考実施)、②合格発表、③入学手続、④各種統計処理を行うために利用します。また、上記利用目的のために、個人情報の一部の取扱いを、個人情報の取扱いに関する契約を締結したうえで外部業者に委託することがあります。

なお、本学大学院理工学研究科研究生受入制度に係る個人情報の取り扱いについてのお問い合わせは、理工三学部事務室大学院担当へお願いします。

18. その他

- ・ 研究生として受入れされたことにより、必ずしも「留学」の在留資格（ビザ）が取得できるとは限りません（在留資格申請に必要とされる研究、または授業時間数の定めがないため）。
- ・ 在留資格審査は出入国在留管理局が行います。交付が遅れる場合や不許可となった場合に発生する航空券の違約金等、本学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・ ご不明な点があれば、理工三学部事務室大学院担当までお問い合わせください。

理工三学部事務室大学院担当： TEL 03 - 3817 - 1744

以 上

2027年度研究生受入要件について
※以下に記載のない指導教員については、出願書類をご提出いただいた上で個別に受入の可否を確認します。

専攻	指導教員	研究室	専門分野	提供する研究テーマ	受け入れ要件	研究環境	出願書類以外の必要書類	注意事項
物理学専攻	田口 善弘	非線形物理学研究室	バイオインフォマティクス	miRNAによる遺伝子発現制御の生体生命情報学的な研究 エピゲネティクスによる遺伝子発現制御の生体生命情報学的な研究	・日本語能力試験2級またはN2レベル以上の合格or 日本留学試験の日本語の合計点が200点以上 ・理工学系の学士号(またはそれと同等以上の学力)を有すること ・物理学と生命科学において学部卒程度の能力があること	研究指導(能力に応じて随時)、専用机・椅子の提供は保証できない(面積が手狭なため)	日本語能力を証明する書類、卒業論文の概要(A4用紙4枚に日本語または英語でまとめること)	大学院進学を目的とした受入(国費留学生を除く)は行わない 募集定員1名
精密工学専攻	青柳 吉輝	材料設計力学研究室	塑性力学 計算材料科学 材料組織学	材料組織と力学特性に基づく高性能材料の設計・評価	【精密工学専攻共通】 ・理工学系の学士号(またはそれと同等以上の学力)を有すること ・日本語もしくは英語でのコミュニケーションがとれること	【精密工学専攻共通】 ・研究指導、机・椅子 ・PCの提供	【精密工学専攻共通】 日本語能力を証明する書類、卒業論文の概要(A4用紙4枚に日本語または英語でまとめること)、推薦状は大学での指導教授作成のものに限る。日本国内の保証人の身分を証明する書類。	【精密工学専攻共通】 ・大学院進学を目的とした受入(国費留学生および協定校からの留学生を除く)は行わない ・募集定員 指導教員あたり1名
	梅田 和昇	知的計測システム研究室	ロボットビジョン 画像処理	距離画像処理・画像処理のロボティクス、ヒューマンインタフェースなどへの応用研究				
	大隅 久	ロボット工学研究室	ロボット工学	マニピュレータの機構と制御に関する研究				
	戸井 武司	音響システム研究室	超音波設計 音質評価 音響数値シミュレーション	音響に関連した研究				
	中村 太郎	バイオメカトロニクス研究室	・バイロボティクス/ メカトロニクス ・スマートソフトアクチュエータ ・生物規範型ロボット	・空気圧人工筋肉・機能性流体デバイスの開発とロボットマニピュレータの制御 ・生物型ロボットの開発と医療/宇宙探査/工業分野への応用				
	早川 健	マイクロ・ナノロボティクス研究室	・微細操作 ・微細操作 ・マイクロロボティクス ・微細加工	・マイクロ流体を用いた細胞操作・解析 ・マイクロロボットの作製				
	土肥 徹次	マイクロシステム研究室	MEMS・マイクロマシン、医工学・医用マイクロデバイス、生体計測・ウェアラブルセンサ、AIを活用した計測・信号解析	・MEMS × AI × Biomedical Engineeringの融合研究 ・AIを活用したウェアラブルセンサ・ヘルスケアシステム ・マイクロMRIによる生体イメージング・医療計測 ・MEMSとAIの融合による知能センサ・自律センシングの創成				
	新妻 実保子	共生知能ロボティクス研究室	人・ロボットコミュニケーション、空間知能化、ヒューマン・インタフェース	・ソーシャルロボット研究 ・人とロボットのインタラクション/コラボレーション研究 ・空間知能化研究とその応用				
	鈴木 宏明	ナノバイオモデリング研究室	微細加工 バイオチップ 生物物理学	バイオマイクロシステム 細胞モデルの構築				
	米津 明生	材料強度学研究室	材料物性評価学、ナノ・マイクロメカニクス、非破壊評価、衝撃工学	材料強度学に関する研究、特に数値解析が主				
	石井 慶子	熱流体工学研究室	熱工学、流体工学	熱流体の可視化計測技術を用いた現象解明、物質輸送デバイスの開発				
	奥井 学	駆動デザイン研究室	メカトロニクス、機械制御、ソフトロボティクス	筋骨格ロボットの開発研究、新規アクチュエータの開発とその応用研究、ウェアラブルシステムの開発研究				
	櫻井 篤	サーマルフोटロニクス研究室	・伝熱工学 ・熱工学 ・フोटロニクス	・熱放射と熱移動 ・エネルギー変換とサーマルマネジメント(熱管理) ・熱工学のためのフोटロニクスとメタマテリアル				
	江面 篤志	アドバンスド加工研究室	生産加工、レーザー加工、アディティブマニュファクチャリング	機械加工技術の高度化、超短パルスレーザーによる高機能表面の創成、3D金属積層造形による複雑形状創製技術の開発				

専攻	指導教員	研究室	専門分野	提供する研究テーマ	受け入れ要件	研究環境	出願書類以外の必要書類	注意事項
電気電子情報通信工学専攻	白井 宏	電磁波工学研究室	・電磁波工学 ・無線通信工学 ・アンテナ工学 ・電磁環境工学	・電磁波散乱・伝搬の解析 ・散乱体認識技術 ・電波の可視化 ・高周波測定技術	・理工学系の学士号(またはそれと同等以上の学力)を有し、電磁波についての基礎知識を有すること。 ・当研究室が提供する研究テーマに対して、積極的に取り組む意欲を有すること。 ・日常生活に不自由しない程度の日本語能力を有すること(例えば、日本語能力試験2級またはN2レベル以上の合格or日本留学試験の日本語の合計点が200点以上)。 ・研究指導を受けるにあたって不自由しない程度の日本語または英語の能力を有すること。	・研究室で行う学部生・大学院生を対象とするゼミへの参加。週1回程度の研究指導。 ・打ち合わせ。 ・研究室へ所属している大学院生と同程度の研究環境の利用(机、椅子。PCは学部生、大学院生と原則として共用)	1. 日本語(日本語検定等)、および英語(TOEIC、TOEFLの成績等)の能力を示す資料。 2. 以前在籍していた大学・大学院での研究で、本研究室で研究したいテーマに一番近い研究論文。 3. 以前在籍していた大学・大学院で、研究・教育指導等を受けたりして本人のことを良く知っている教員1名の氏名、所属、連絡先。Eメールは先方の所属機関のEメールアドレスを記入のこと。フリーメールアドレスは不可。 4. 研究生として在学する一年間の研究計画予定書1,000字程度。 (提出が望ましいもの) 上記3の教員本人からの推薦Eメール(日本語または英語)	・募集定員若干名。 ・受け入れは1年以内とし、複数年継続しての受け入れは原則認めない。 ・研究生受け入れと将来希望した場合の博士課程前期・後期課程への進学受け入れ内諾とは無関係であることを承知しておくこと。
	山村 清隆	情報数理工学研究室	非線形システム 回路シミュレーション	非線形システムの数値解析法に関する研究	・日本語能力試験2級またはN2レベル以上の合格or日本留学試験の日本語の合計点が200点以上 ・理工学系の学士号(またはそれと同等以上の学力)を有すること ・数値解析と数値計画法に関する基礎知識を有すること	週1回の研究指導、専用机・椅子の提供	日本語能力を証明する書類、卒業論文の概要(A4用紙4枚に日本語または英語でまとめること)	大学院進学を目的とした受入(国費留学生を除く)は行わない 募集定員1名
応用化学専攻	片山 建二	分光化学システム研究室	光化学 分光科学	・太陽電池 ・光触媒 ・光応答性液晶 ・顕微分光 ・時間分解分光	・英語もしくは日本語でのコミュニケーションがとれること。			
情報工学専攻	鈴木 寿	知能・情報制御研究室	サイバネティクス 人工知能(AI) ロボティクス(ロボット工学)	【画像処理】人体やロボットの動作のストローク生成 【信号処理】Pronyエネルギースペクトル密度分析ツールの開発 【信号処理】心音図分析／心電図分析 【信号処理】音響分析一般 【自然言語】日本語で会話するコンピューターの要素技術	・日本語能力試験1級を受験予定がある以上の日本語能力を有し、かつ、理工学系の学士以上の学力を有すること	研究室(学生実験室)における専用の机・椅子の利用、および、研究室行事(研究室ゼミを含む)への参加	日本語能力を証明する書類、卒業研究論文等、研究目的および研究計画について明確に述べた文書(図・表の利用可)	大学院進学を目的とした受入れは行わない(国費留学生を除く)。
	牧野 光則	システム解析・可視化研究室	コンピュータグラフィックス(CG)、 バーチャルリアリティ等(VR、AR、MR、XR)、 可視化(VIS)	・CG、VR、AR、MR、XRIに関する技術動向の調査及び研究 ・CG、VR、AR、MR、XRの単数または複数による応用システム(例えば学習支援、訓練支援、能力拡張)の調査及び研究 ・可視化に関する技術動向の調査及び研究、並びに、可視化技術の応用システム ・その他、上記に関連が深い内容	日本語によるコミュニケーションのうち、Reading、Listening、Speakingについて研究進行に支障がない水準に達していること。 英語によるコミュニケーションのうち、Readingについて研究進行に支障がない水準に達していること。 日本語または英語によるコミュニケーションのうち、Writingについて研究進行に支障がない水準に達していること。 問題解決力、知識獲得力、組織的行動能力、創造力、自己実現力、多様性創発力について、中央大学段階別コンピテンシーの定義に沿って概ねレベル3以上であること(https://www.chuo-u.ac.jp/gp/competency_pro/competency/definition/)。 当研究室が提供する研究テーマに対して、積極的に取り組む意欲及び取り組むための基盤となる知識・能力(プログラミング、アルゴリズム、数学を含む)を幅広く有すること。	・学部生を対象とする研究室活動への参加(ゼミの参加・聴講、外部見学等)。但し、守秘義務が課せられているものは除く。 ・机、椅子、PC等は学部生と同等の環境の利用可。 HMD等の実験機器は他の学生と共同使用。	出願者の研究計画に「当該テーマを当研究室で取り組むことが最善であると判断した根拠」を含めること。	・研究生としての活動は修士課程受験準備ではないことを予め承知すること。 ・研究室保有または使用しているソフトウェア、ハードウェアならびに各種データの持ち出しは原則として禁止する。 ・研究生は自主的に研究室で調査・研究に従事することが求められている。活動内容を記録する等、高い水準での自己実現力発揮を期待する。

CHUO UNIVERSITY Graduate School of Science and Engineering

<Research Student>

The Graduate School of Science and Engineering at Chuo University offers a Research Student Program for international students. Those students can use facilities of our university for the purpose of their research.

1. Research Environment

(1) Research Students can use facilities at Korakuen Campus of Chuo University.

*Library, IT Center, Co-op, Cafeterias etc.

(2) Research Students can belong to a laboratory.

*Research activities and supervision vary depending on the laboratory.

(3) Research students can take extracurricular Japanese language courses for international students (two classes per week).

*Tentative

2. Application Requirements

Applicants must meet both of the following requirements as of the start of their enrollment period:

(1) Be a national of a country other than Japan.

(2) Have obtained a bachelor's degree from a university outside Japan or have equivalent qualifications.

Applicants who have not obtained a bachelor's degree must undergo an Individual Admission Qualification Screening. Please refer to Section 14 for details.

3. Start of Enrollment Period

In principle, April 1 or October 1.

4. Period of Acceptance

Period of Acceptance: 3, 6, 9, or 12 months

NOTE: March 31 marks the end of each academic year.

5. Number of Students to be admitted

A limited number of applicants will be accepted. Only applicants who have been approved for acceptance by their prospective academic supervisor are eligible for admission.

6. Application Documents

(1)	Application Form	prescribed form
(2)	Research Proposal	prescribed form: The research proposal must be prepared on one A4-size page.
(3)	Recommendation Letter	prescribed form : The recommender should preferably be someone who is familiar with the applicant's research activities, such as the applicant's academic supervisor at their previous university. However, a teacher at a Japanese language school or the prospective academic supervisor at Chuo University may also serve as the recommender.
(4)	Letter of Guarantee	prescribed form : The guarantor must reside in Japan, be

		employed by a company or other organization, and be financially independent. Students, homemakers, or others without their own income cannot serve as guarantors.
(5)	Certificate of University Graduation/ Degree and Transcript of University	Either Japanese or English. If other languages, attach a translation certified by an appropriate authority such as an embassy. Original certificates must be submitted. * If you have a certificate confirming the award of your bachelor's degree, please submit it as well.
(6)	Certificate of Japanese or English Proficiency	A test score for the Japanese-Language Proficiency Test or "Examination for Japanese University Admission for International Students". A TOEIC or TOEFL official score. * If you are unable to submit any of the above language proficiency certificates or scores, please contact us. * Some laboratories may have language requirements. Please make sure to check the requirements of the laboratory you wish to enter.
(7)	A copy of either a resident card, a passport, a certificate of a special permanent resident	A copy of the page showing your name, date of birth, photograph, issuing institution, expiration date, status of residence, and latest period of stay.
(8)	Other Documents Required by Your Prospective Academic Supervisor	

7. Application Procedures

- (1) Check the application eligibility requirements and the admission requirements of the laboratory you wish to join, and confirm that you meet all applicable requirements.
- (2) If you meet the requirements, submit the application documents by the deadline. If your prospective academic supervisor requires any additional documents, please submit them together with the application documents. Submitted documents will not be returned.
Application documents should be addressed to:
Office of Faculties of Science and Engineering
1-13-27 Kasuga, Bunkyo-ku, Tokyo 112-8551 Japan
Mail: gsse-all-grp@g.chuo-u.ac.jp
- (3) Your prospective academic supervisor will determine whether you can be accepted. An interview or other screening may be required. If the supervisor agrees to accept you, your application will then be reviewed by the Graduate School of Science and Engineering. The Office of the Faculties of Science and Engineering will notify you of the result.

8. Deadline for Application Documents

For admission in April, 2027 . . . 7 January 2027
 For admission in July, 2027 . . . 1 April 2027
 For admission in October, 2027 . . . 4 June 2027
 For admission in January, 2028 . . . 24 September 2027

NOTE: For applications submitted by mail, a postmark dated on or before the application deadline will be accepted. For applications submitted in person, documents must be submitted by 5:00

p.m. on the application deadline. Please check the Graduate School website for office hours. Please submit your application as early as possible once your documents are ready, allowing sufficient time to meet the deadline.

9. Returning Original Certificates

If you wish to have your original certificates and transcripts of external examinations returned, please submit the following documents together with the original certificates.

- (1) Request for return of original certificates (prescribed form)
- (2) Photocopies of the certificates you wish to have returned
- (3) Stamped return envelope (not required if you submit the application documents at the counter)

10. Application Process

- (1) Check the admission requirements of the laboratory you wish to join on the website.
If you meet the requirements, proceed to Step 2.
- (2) Submit application documents
- (3) Decision on acceptance by the prospective academic supervisor
If accepted, proceed to Step 4.
- (4) Review by the Graduate School Committee
- (5) Submit documents for the instruction fee reduction (if applicable)
- (6) Review by committee regarding the instruction fee reduction (if applicable)
- (7) Payment of tuition fees, issuance of the Certificate of Admission, and application for a status of residence (visa)
- (8) Admission (A research student card will be issued.)

11. Selection Method/ Criteria

Screening of application documents

NOTE: No application fee is required.

12. Tuition Fees (2026 Academic Year, for Reference)

Registration Fee: JPY 20,000 (first year only)

Instruction Fee: JPY 1,065,700 (for a 12-month enrollment period)

NOTE: The instruction fee varies depending on the enrollment period and academic year.

NOTE: Tuition fees must be paid in a single lump-sum payment.

NOTE: Registration and instruction fees, once paid, are non-refundable for any reason.

13. Instruction Fee Reduction

Privately financed international students may be eligible for a reduction in the instruction fee based on the economic disparity between Japan and their home country. If approved through the screening process, students may receive a reduction in the instruction fee.

If you wish to apply for the instruction fee reduction, please check the appropriate box on the application form.

<Maximum Instruction Fee Reduction>

*Depends on the period of attendance in our graduate school

- (1) One year (12 months) : JPY 250,000
- (2) Nine months : JPY 187,500
- (3) Six months : JPY 125,000
- (4) Three months : JPY 62,500

14. Individual Admission Qualification Screening

(1) Application deadline

For admission in April 2027 9 December 2026

For admission in July 2027 19 March 2027

For admission in October 2027 . . . 21 May 2027

For admission in January 2028 . . . 10 September 2027

(2) Application Procedures

Applicants must submit the following documents by the deadline.

NOTE: If sent by mail, the application must arrive by the deadline.

- Application Form for Admission Qualification Screening (prescribed form).
- Application Documents

(3) Screening Method

Comprehensive evaluation based on submitted documents.

(4) Notification of Examination Results

A notification of the screening results will be sent after the screening.

15. Certificate of Admission

(1) After your acceptance has been approved by the Committee, a payment slip will be issued.

Your admission will become official once full payment of the tuition fees has been confirmed, after which a Certificate of Admission will be issued.

(2) The first certificate is issued free of charge. Additional certificates are available for JPY 300 per copy.

16. Security Export Control

Chuo University has established the “Chuo University Security Export Control Regulations” in accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan and implements controls on the transfer and shipment of goods and technologies overseas, international collaborative research, and the acceptance of foreign researchers and international students.

The education and research provided by the Graduate School may be subject to security export control regulations. If your intended education or research falls under such regulations, you may not be able to receive the intended education or conduct the intended research.

17. Handling of Personal Information

Please check the box in the APPLICATION FOR ADMISSION to agree to the following.

At Chuo University, names, gender, dates of birth, addresses, and other personal information provided by applicants in their application documents will be managed strictly under the "Chuo University Regulations for Protection of Personal Information" and the "Chuo University Policy for Protection of Personal Information." Such personal information will be used only for the following purposes:

(1) conducting the entrance exam (processing of applications and selections),

(2) results announcement,

(3) admission procedures, and

(4) statistical processing. Some of the above personal information will be handled by a third-party contractor. The contracted organization will sign a non-disclosure agreement with the university to control the safe management of personal information. For the handling of personal information regarding the Research Student system of Chuo University Graduate School of Science and Engineering, please contact the Graduate School Desk, Office of the Faculties of Science and Engineering.

18. Others

- (1) Acceptance as a research student does not necessarily guarantee that you will be able to obtain “Student” status of residence (a student visa), as there are no prescribed research or class-hour requirements for this Research Student Program.
- (2) Applications for status of residence are reviewed by the Immigration Services Agency of Japan. Chuo University assumes no responsibility for any costs incurred, such as airline cancellation fees, in the event that the issuance of a status of residence is delayed or an application is denied. Please make your travel arrangements carefully.
- (3) If you have any questions, please contact the Graduate School Desk, Office of the Faculties of Science and Engineering.
TEL: 03 - 3817 - 1744
MAIL: gsse-all-grp(at)g.chuo-u.ac.jp *Please replace (at) with @

Requirements for Acceptance as a Research Student for Academic Year 2027

*For faculty members not listed below, acceptance will be considered on an individual basis after the application documents have been submitted.

Course	Academic Supervisor	Laboratory	Research Field	Research Topics	Acceptance Requirements	Research Environment	Additional Documents Required	Notes
Physics Course	Yoshihiro Taguchi	Nonlinear Physics Laboratory	Bioinformatics	Bioinformatics research on the regulation of gene expression by miRNAs Bioinformatics research on the regulation of gene expression through epigenetics	• J-LPT N2 (or former Level 2) or higher, or a total score of 200 or higher in the Japanese section of the EJU • A bachelor's degree in science or engineering, or equivalent academic ability • Undergraduate-level knowledge of physics and life sciences	Research supervision as needed, depending on the student's ability. A dedicated desk and chair cannot be guaranteed due to limited space.	Proof of Japanese-language proficiency; a four-page A4 summary of the undergraduate thesis in Japanese or English	Applicants whose purpose is to enter a graduate degree program will not be accepted, except MEXT Scholarship students. Capacity: 1 student
Precision Engineering Course	Yoshiteru Aoyagi	Materials Design Mechanics Laboratory	Plasticity Computational Materials Science Materials Microstructure	Design and evaluation of high-performance materials based on relationship between microstructure and mechanical properties.	• Common requirements for the Precision Engineering Course • A bachelor's degree in science or engineering, or equivalent academic ability • Ability to communicate in Japanese or English	• Common to the Precision Engineering Course • Research supervision approximately once a week; desk, chair, and PC provided	• Common to the Precision Engineering Course • Proof of Japanese-language proficiency; a four-page A4 summary of the undergraduate thesis in Japanese or English; a recommendation letter from the applicant's academic supervisor; proof of identity/status of a guarantor residing in Japan	• Common to the Precision Engineering Course • Applicants whose purpose is to enter a graduate degree program will not be accepted, except MEXT Scholarship students and students from partner institutions. • Capacity: 1 student per research supervisor
	Kazunori Umeda	Intelligent Sensing System Laboratory	Robot Vision Image Processing	Research on applications of range-image processing and image processing to robotics, human interfaces, and related fields.				
	Hisashi Osumi	Robotics Laboratory	Robotics	Research on mechanisms and control of manipulators.				
	Takeshi Toi	Acoustic System Laboratory	Pleasant Sound Design Sound Quality Evaluation Numerical Acoustic Simulation	Research related to acoustics.				
	Taro Nakamura	Biorobotics and Mechatronics Laboratory	• Biorobotics / Mechatronics • Smart Soft Actuators • Bio-inspired Robots	• Development of pneumatic artificial muscles and functional-fluid devices, and control of robotic manipulators • Development of bio-inspired robots and their application to medical space-exploration, and industrial fields				
	Takeshi Hayakawa	Micro/Nano Robotics Laboratory	• Micromanipulation • Micromanipulation • Microrobotics • Microfabrication	• Cell manipulation and analysis using microfluidics • Fabrication of microrobots				
	Tetsuji Dohi	Microsystems Laboratory	MEMS and Micromachines; Biomedical Engineering and Medical Microdevices; Biomedical Sensing and Wearable Sensors; AI-Assisted Measurement and Signal Analysis	• Convergence Research: MEMS × AI × Biomedical Engineering • AI-Enhanced Wearable Sensors and Healthcare Systems • Micro-MRI for Biomedical Imaging and Measurement • Intelligent Sensors and Autonomous Sensing through the Integration of MEMS and AI				
	Mihoko Niitsuma	Human Assistive Robotics Laboratory	Human-Robot Interaction Spatial Intelligence Human Interface	• Social robotics • Human-Robot Interaction/Collaboration • Spatial Intelligent and its application				
	Hiroaki Suzuki	Nanobio Modeling Laboratory	Microfabrication Biochips Biophysics	Biomicrosystems Construction of cellular models				
	Akio Yonezu	Materials Science and Mechanics Laboratory	Materials Property Evaluation Nano-Micromechanics Nondestructive Evaluation Impact Engineering	Research on materials science and mechanics, focusing primarily on numerical simulation				
	Keiko Ishii	Thermal Fluid Engineering Laboratory	Thermal Engineering Fluid Engineering	Elucidation of thermo-fluid phenomena using visualization and measurement techniques; development of mass-transport devices.				
	Manabu Okui	Actuation Design Laboratory	Mechatronics Mechanical Control Soft Robotics	Development of musculoskeletal robots; development of novel actuators and research on their applications; development of wearable systems.				
	Atsushi Sakurai	Thermal Photonics Laboratory	• Heat Transfer • Thermal Engineering • Photonics	• Thermal Radiation and Heat Transfer • Energy Conversion and Thermal Management • Photonics and Metamaterials for Thermal Engineering				
	Atsushi Ezura	Advanced Manufacturing Laboratory	Production Engineering, Laser Processing, Additive Manufacturing	• Advancement of machining technologies • Creation of highly functional surfaces using ultrashort pulsed lasers • Development of fabrication technologies for complex geometries via 3D metal additive manufacturing				

Course	Academic Supervisor	Laboratory	Research Field	Research Topics	Acceptance Requirements	Research Environment	Additional Documents Required	Notes
Electrical, Electronic, and Communication Engineering Course	Hiroshi Shirai	Electromagnetic Wave Engineering Laboratory	Electromagnetic Fields and Waves Electromagnetic Wave Propagation Analysis and Antenna Engineering	• Analysis of electromagnetic-wave scattering and propagation • Scatterer recognition technology • Visualization of radio waves • High-frequency measurement technology	• A bachelor's degree in science or engineering, or equivalent academic ability, with basic knowledge of electromagnetic waves • Strong motivation to engage proactively in the research topics offered by the laboratory • Japanese proficiency sufficient for everyday conversation (e.g., JLPT N2/former Level 2 or higher, or an EJU Japanese score of 200 or higher) • Sufficient Japanese or English proficiency to receive research supervision	• Participation in laboratory seminars for undergraduate and graduate students, with research supervision/meetings approximately once a week • Access to a research environment comparable to that of graduate students (desk and chair; PCs are generally shared with other students)	1. Proof of Japanese and English proficiency (e.g., JLPT, TOEIC, or TOEFL results) 2. A research paper from the applicant's previous university/graduate school most closely related to the proposed research topic 3. Name, affiliation, and contact information of one faculty member from the applicant's previous university/graduate school who knows the applicant well through research or academic supervision. An institutional email address is required; free email addresses are not accepted. 4. A research plan of approximately 1,000 Japanese characters for the one-year research-student period Recommended: A recommendation email in Japanese or English sent directly by the faculty member listed in item 3	• Capacity: a limited number of students • Acceptance is limited to one year in principle; continuation for multiple years is generally not permitted. • Acceptance as a research student does not imply future acceptance into a Master's or Doctoral Program.
	Kiyotaka Yamamura	Mathematical Systems Engineering Laboratory	Numerical Analysis of Nonlinear Circuits and Systems	Research on numerical methods for analyzing nonlinear systems.	• JLPT N2 (or former Level 2) or higher, or a total score of 200 or higher in the Japanese section of the EJU • A bachelor's degree in science or engineering, or equivalent academic ability • Basic knowledge of numerical analysis and mathematical programming	Research supervision once a week; dedicated desk and chair provided	Proof of Japanese-language proficiency; a four-page A4 summary of the undergraduate thesis in Japanese or English	Applicants whose purpose is to enter a graduate degree program will not be accepted, except MEXT Scholarship students. Capacity: 1 student
Applied Chemistry Course	Kenji Katayama	Spectrochemical Systems Laboratory	Photochemistry Spectroscopy	• Solar cells • Photocatalysts • Photoresponsive liquid crystals • Microspectroscopy • Time-resolved spectroscopy	• Ability to communicate in English or Japanese			
Information and System Engineering Course	Hisashi Suzuki	Intelligent Information and Control Laboratory	Cybernetics Artificial Intelligence (AI) Robotics	[Image Processing] Stroke generation for human and robot motions [Signal Processing] Development of a Prony energy spectral density analysis tool [Signal Processing] Phonocardiogram / electrocardiogram analysis [Signal Processing] General acoustic analysis [Natural Language] Elemental technologies for computers that converse in Japanese	• Japanese proficiency at a level sufficient to take JLPT N1, and academic ability equivalent to or higher than a bachelor's degree in science or engineering	Dedicated desk and chair in the laboratory (student laboratory), and participation in laboratory activities, including seminars	Proof of Japanese-language proficiency; undergraduate thesis or equivalent; a document clearly describing the research objectives and plan (figures and tables may be included)	Applicants whose purpose is to enter a graduate degree program will not be accepted, except MEXT Scholarship students.
	Mitsunori Makino	Systems Analysis, Visualization and Computer Graphics Lab	Computer Graphics (CG) Virtual Reality and related technologies (VR, AR, MR, XR) Visualization (VIS)	• Survey and research on technological trends in CG, VR, AR, MR, and XR • Survey and research on application systems using one or more of CG, VR, AR, MR, and XR (e.g., learning support, training support, and human augmentation) • Survey and research on technological trends in visualization, and application systems using visualization technologies • Other topics closely related to the above	• Japanese reading, listening, and speaking proficiency sufficient to conduct research • English reading proficiency sufficient to conduct research • Writing proficiency in either Japanese or English sufficient to conduct research • Generally Level 3 or higher under Chuo University's competency definitions for problem-solving, knowledge acquisition, organizational behavior, creativity, self-actualization, and diversity-driven innovation • Strong motivation to engage proactively in the laboratory's research topics, with a broad foundation of relevant knowledge and skills, including programming, algorithms, and mathematics	• Participation in undergraduate laboratory activities (seminars, seminar observation, external visits, etc.), excluding activities subject to confidentiality obligations • Access to a desk, chair, PC, etc. under conditions comparable to those for undergraduate students; experimental equipment such as HMDs is shared	The research plan must explain why the proposed topic is best pursued in this laboratory.	• Research-student activities are not intended as preparation for the Master's Program entrance examination. • In principle, software, hardware, and data owned or used by the laboratory may not be taken outside the laboratory. • Research students are expected to conduct research independently and keep records of their activities, demonstrating a high level of self-directed engagement.